

クリスマスメッセージ



家畜小屋に生まれた王の物語

聖書のことば

- 2:1 イエスがヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。
- 2:2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました。」
- 2:3 これを聞いてヘロデ王は動揺した。エルサレム中の人々も王と同じであった。
- 2:7 そこでヘロデは博士たちをひそかに呼んで、彼らから、星が現れた時期について詳しく聞いた。
- 2:8 そして、「行って幼子について詳しく調べ、見つけたら知らせてもらいたい。私も行って拝むから」と言って、彼らをベツレヘムに送り出した。
- 2:9 博士たちは、王の言ったことを聞いて出て行った。すると見よ。かつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、ついに幼子のいるところまで来て、その上にとどまった。
- 2:10 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。
- 2:11 それから家に入り、母マリアとともにいる幼子を見、ひれ伏して礼拝した。そして宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

マタイの福音書 2 章 1～11 節 (抜粋)

- 21:5 「娘シオンに言え。『見よ、あなたの王があなたのところに来る。柔和な方で、ろばに乗って。荷ろばの子である、子ろばに乗って。』」
- 21:6 そこで弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、
- 21:7 ろばと子ろばを連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。そこでイエスはその上に座られた。
- 21:8 すると非常に多くの群衆が、自分たちの上着を道に敷いた。また、木の枝を切って道に敷く者たちもいた。
- 21:9 群衆は、イエスの前を行く者たちも後に続く者たちも、こう言って叫んだ。「ホサナ、ダビデの子に。祝福あれ、主の御名によって来られる方に。ホサナ、いと高き所に。」

マタイの福音書 21 章 5～9 節

- 27:22 ピラトは彼らに言った。「では、キリストと呼ばれているイエスを私はどのようにしようか。」彼らはみな言った。「十字架につけろ。」
- 27:23 ピラトは言った。「あの人がどんな悪いことをしたのか。」しかし、彼らはますます激しく叫び続けた。「十字架につけろ。」
- 27:26 そこでピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イエスはむちで打ってから、十字架につけるために引き渡した。
- 27:27 それから、総督の兵士たちはイエスを総督官邸の中に連れて行き、イエスの周りに全部隊を集めた。
- 27:29 それから彼らは茨で冠を編んでイエスの頭に置き、右手に葦の棒を持たせた。そしてイエスの前にひざまずき、「ユダヤ人の王様、万歳」と言って、からかった。
- 27:30 またイエスに唾をかけ、葦の棒を取り上げて頭をたたいた。
- 27:37 彼らは、「これはユダヤ人の王イエスである」と書かれた罪状書きをイエスの頭の上に掲げた。
- 27:38 そのとき、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右に、一人は左に、十字架につけられていた。
- 27:39 通りすがりの人たちは、頭を振りながらイエスをののしった。
- 27:40 「神殿を壊して三日で建てる人よ、もしおまえが神の子なら自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」
- 27:41 同じように祭司長たちも、律法学者たち、長老たちと一緒にイエスを嘲って言った。
- 27:42 「他人は救ったが、自分は救えない。彼はイスラエルの王だ。今、十字架から降りてもらおう。そうすれば信じよう。

マタイの福音書 27 章 22～42 節 (抜粋)

- 3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。
- 3:15 それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」
- 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。
- 3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

ヨハネの福音書 3 章 14～17 節



家畜小屋に生まれた王の物語

1. 濃霧の中の軍事演習(実話)



わたしたちは、真理（神）に逆らっては何をする力もなく、真理（神）にしたがえば力がある。
(Ⅱコリント 13:8)



戦艦ミズーリ

2. パスカルの賭け

	神は存在する	神は存在しない
神の存在を信じる	永遠の祝福	失うものなし
神の存在を否定する	永遠の損失	失うものなし



ブレイズ・パスカル

(1623~1662)

3. 福沢諭吉の家庭教育

『ひびのおしへ』 子息一太郎と捨次郎のために 1871 (明治4年) 十月廿七日
…天地万物なにもかも、ごつどのつくらざるものなし。子供のときより、
ごつどのありがたきをしり、ごつどのこゝろにしたがふべきものなり。
『学問のすすめ』 1872~76年 (明治5~9年)
「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずといへり」



福沢諭吉

4. マサチューセッツ総合病院での出来事

- フリードリッヒ大王の実験
- 神は御子を通して語られた
 - 百匹の羊のうちの一匹
 - 十枚の銀貨のうち一枚
 - 二人の息子のうちの一人

初めにことばがあった。
ことばは神とともにあった。
ことばは神であった。
(ヨハネ 1:1)



5. イエスを「ユダヤ人の王」と認めたのはだれか

- 東方の博士たち
- ヘロデ王
- イエスのエルサレム入城を歓呼の声で迎えた民衆
- ローマ総督ピラト
- 通りすがりの人々
- ユダヤ人の祭司長、律法学者、長老たち



World Health Organization

世界保健機構(WHO)



救急車のロゴ

6. 飼い葉おけに生まれ、十字架で死なれた王、イエス 家臣のために死ぬ主君はいない

7. 「無料です」(『心のチキンスープ』より)